

Oxy-Pro(Hb141) 簡単マニュアル

【同梱内容】

- ・本体
- ・シェード
- ・電池(CR2032R)1個
- ・固定ベルト1本
- ・簡単マニュアル

必要なアプリをインストールします。

Android搭載スマートフォン及びタブレット用

1. 右のQRコードを読み取りしてリンクを開くをタップします。
2. 「Oxy-Pro測定表示プログラム」の「インストール」をタップします。
3. 「開く」をタップします。



Android用

Playストアからのインストール方法はホームページのOxy-Proのページの動画よりご覧いただけます。

https://astem-jp.com/oxy-pro_youtube/

※個装箱上部のQRコードを読み取りホームページにアクセスすることもできます。

※Androidの場合、動作しない機種もありますので、事前にご確認することをお勧めします。

Android: 7.0以上

OSのバージョンが対応していても、機種により使用不可となる場合がございます。

※32bitのタブレットはアステムHPよりソフトウェアのダウンロードをしてください。

ダウンロードの方法は下記のWindows用をご参考にしてください。

iPhoneおよびiPad用

1. ホーム画面で「App Store」をタップします。
2. 「検索」をタップします。
3. 検索ボックスをタップします。
4. アプリケーション名「OxyPro」を入力します。
5. 「入手」をタップします。
6. 「インストール」をタップします。
7. インストールが完了すると、「開く」ボタンが表示され、ホーム画面にアプリのアイコンが追加されます。

AppStoreからのインストール方法をホームページ Oxy-Proページの動画よりご覧いただけます。

https://astem-jp.com/oxy-pro_youtube/

Windows用

1. 検索窓に「astem-jp」を入力します。(アステムHP(<https://astem-jp.com/>))
 2. 「NIRSのアステム」をクリックします。
 3. 主力製品「Oxy-Pro」の画像をクリックします。
 4. 「ソフトウェアダウンロード」をクリックします。
 5. 「Oxy-Proアプリケーション Windows用」をクリックしダウンロードします。
 6. 「Oxy-Pro」をインストールします。
- 完了しますとホーム画面にアプリのアイコンが追加されます。

※Windows-PCの場合は事前に**Bluetoothのペアリング**が必要です
ので、ご使用されているPCの取扱説明に従って、Oxy-Proのペアリング
を行ってください。
※使用方法等はヘルプの取扱説明書をご参照ください。

データ表示プログラム(Windows-PC)

ご使用されているウイルス保護ソフトによっては、ダウンロードする際、警告が出る場合がございます。その際は、ファイアウォールを一時的に解除してからダウンロードして下さい。

1. データ表示プログラム(OxyPro_data_viewer)をインストールします。
アステムHP(<https://astem-jp.com/>) 主力製品「Oxy-Pro」の画像をクリックします。
2. 「ソフトウェアダウンロード」をクリックします。
3. 「Oxy-Proデータ表示プログラムOxyPro_data_viewer Windows用」を選択し、ダウンロード
をします。
(「WindowsによってPCが保護されました」と警告が出ましたら「詳細情報」をクリックして
「実行」をクリックしてください)
4. 実行ファイルを開くと、プログラムを使用することができます。
※使用方法等はビューア内のヘルプをご参照ください。

ご使用の流れ

※電池の取付

電池の取付は本体表面の電池蓋を100円硬貨などのコインを差し込み、取り外します。
電池の極性を確認して、電池に+が刻印されている面を上にして取付けて下さい。



注意

- 電池の交換は、必ず電源を切ってから行って下さい。
- 電池は火中に投じないで下さい。破裂する恐れがあります。

Oxy-Pro本体をシェードに
はめ込みます

シェードはめ込み後



1. 測定の準備を

スマートフォンやタブレット等の設定からBluetooth をオンにします。

スマートフォンやタブレットのOxy-Proのアイコンをタップし、ダウンロードした測定アプリを起動します。



機器の登録

Oxy-Proアプリを立ち上げると、図1の画面が表示されますのでOxy-Proの電源を入れて表示灯が点滅を繰り返すのを確認し「モニター」のタブをタップしてください。機器番号の欄にシリアル番号が表示されたら選択して「登録」タップしてください。登録をしますと接続先に機器のシリアル番号が表示されます。



2. 測定項目を設定

計測のタブをタップします。

- ① ⚙️ タップして 移動平均、加速度・角速度の選択をします。
- ② 移動平均: 3.5, 7.9, 11点 ▼で選択しOKをタップします。
- ③ 加速度、角速度を▼で選択しOKをタップします。
iPhoneの場合: 加速度、角速度を選択してから「完了」をタップします。
- ④ 表示する測定項目 (OXHb・DXHb・TOHb) を▼で選択します。
- ⑤ 📁 ファイルを開くとスマートフォン内部に保存されている測定データを見ることができます。

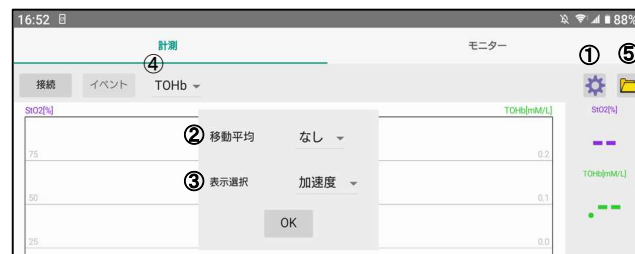
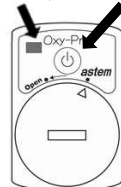


図1

LED(電源表示) 電源ボタン



Oxy-Proの電源ボタンを長押し(注1)することで電源のON/OFFを行うことができます。
電源をONしますと、LEDが1秒間隔で緑色点滅し、Bluetooth接続及び蓄積モード動作の待機状態となります。

注1) 長押しとは、電源ボタンを2秒以上押し続けることを言う。

3. 条件を設定

Oxy-Proを待機状態にし、測定アプリの「接続」をタップします。



- ① 機器のシリアル番号
接続先に表示されたシリアル番号は、その機器に対して測定条件の設定、蓄積モードデータの読み出し、リアルモード測定開始が可能です。
- ② 測定レート: 0.05、0.1、0.2、0.5、1.0、5.0 (秒) ▼で選択します。
※測定レートを早くしますと電池寿命は短くなります。
- ③ オートオフ: 無効、10分、30分、1時間を▼で選択します。
(待機状態のまま設定時間で自動的に電源が切れます。)
- ④ 介在組織厚(脂肪厚)の設定: < > をタップして設定します。
- ⑤ レンジ: 加速度、角速度を各▼で選択します。
- ⑥ 保存先: データの保存先のアドレスです。

設定した値を右上の「蓄積モード操作」の「設定」をタップすると、各種設定値がOxy-Proに設定されます。

※脂肪厚は超音波断層撮影装置が無い場合は、対象部位を右の図の様に皮膚をツマミその厚みの1/2を入力して下さい。
(キャリパーをご使用頂いても構いません)



設定 : 1台接続時

接続する機器のシリアル番号をタップし選択します。
選択されると「1台選択中」と表示されます。



左図は、選択されていない状態です。選択されると「選択中」の表示にかわります。

設定 : 2台接続時

- ① 2台とも選択されていない状態
- ② 1台のみ選択されている状態
- ③ 2台とも選択されている状態



2台接続の場合、介入組織厚は、機器ごとに設定してください。

電源ランプの意味

緑ランプ 点滅	電源ON (Bluetooth 未接続)	各種条件設定、接続で測定開始
緑ランプ 2秒点滅	リアルモード測定中	表示デバイスに測定データ表示
赤ランプ 2秒点滅	蓄積モード測定中	測定後、表示デバイスにダウンロード

4. センサー本体取付

測定対象部位(大腿部など)にOxy-Proをセットします。
その上から付属のベルトで適度な圧迫力になるよう(圧迫し過ぎない様、ややしっかり落ちない程度に)調整しながら装着して下さい。

- ※固定ベルトの機能目的
 - ① Oxy-Proを皮膚に固定します。
 - ② 太陽光線(曇天時でも)を遮蔽します。
- 屋外での測定の場合は、必ず固定ベルトの装着し、遮光をしてください。
ズレしてしまう場合はテーピング用テープで固定し、その上から固定ベルトで太陽光を遮光してください。

**注意**

- マジックテープで肌を傷つけないようにご注意ください。
- 面ファスナーが衣類につかないように装着して下さい。ほつれや伝線の原因となります。

5. 測定開始

リアルモードで測定開始

Oxy-Proの電源をONにし、センサー本体を取り付けます。
設定画面で使用する機器のシリアル番号をタップします。
リアルモード操作の「測定開始」をタップしますと、測定が開始されます。
(本体のLEDが2秒間隔の緑色点滅となります)
測定アプリの画面が切り替わり、測定値が表示されます。リアルモード測定中、測定値のトレンドがアプリ画面にリアルタイム表示されます。
※「EVENT」
測定表示画面で「イベント」をタップするとデータにマーキングされます。



切断をタップすると、「csvへ出力」と表示されるのでOKをタップします。
(測定を終了し、LEDが1秒間隔の緑色点滅状態に戻ります。)
アプリを終了後、Oxy-Proの電源をOFFしてください。



グラフ表示エリアでダブルタップすると、全体表示と通常表示を切り替えます。(通常表示で1画面に収まっている場合は、切り替わりません)
リアルモード測定中に、グラフエリアで右にスワイプするとスクロールバーが現れてスクロール出来ます。
スクロールバーのカーソルを右端一杯に移動すると、スクロールバーが消え、通常の自動スクロールに戻ります。

センサー確認: ☐にチェックを入れると、外来光のチェック、Oxy-Proが適切に皮膚に取り付けられているかをチェックができます。
(測定時はチェックを外してください)

リアルモード操作
☒ センサー確認
測定開始

蓄積モードで測定開始

Oxy-Proの電源をONにします。電源ONになるとLEDが1秒間隔で緑色点滅します。
電源ボタンを短押ししますと、LEDが2秒間隔の赤色点滅となり、蓄積モードでの測定を開始します。センサー本体を取り付けます。
この時の測定条件(測定レート、オートオフ、介入組織厚、加速度、角速度)は、直近の測定で設定した数値となっております。(電源OFFしても保持されます)

※蓄積モードの測定終了は、電源ボタンを長押しすると、電源OFFとなります。

蓄積モードで記録可能なデータは1件のみで、蓄積モード測定を開始すると前回の記録データは消去されます。
データを残したい場合は、測定アプリで読み出してから、次の測定を行って下さい。

蓄積モード時の測定状況確認 ⇒ モニター及び電池電圧の確認
アプリを立ち上げて、モニターをタップします。



モニター機能では、電源の入っている周囲のOxy-Proを全て受信しますが、登録されている機器は、優先して表示され機器のシリアル番号は太字で表示されます。
登録されていない機器は、機器のシリアル番号のみが細字で表示されます。
リストはファイルに記録されるので、次回アプリ起動時にも有効です。



モニターが不要なものを
選択し非表示をタップし
ますと、表示されなくなり
ます。
非表示解除は、全ての機
器の非表示状態を解除し
ます。

※測定したデータの読み出し

Oxy-Proの電源スイッチをONにします。
タブレット等の「Oxy-Pro」アプリを起動します。
「接続」をタップして接続します。
「読み出し」をタップします。
データ(csvファイル)が保存されます。

蓄積モードデータ読み出し完了
2/2 100% 受信済み
20200618-001.csvへ出力
OK

アップロードしたデータはアプリ固有のフォルダ内に保存されます。
ファイル⇒内部ストレージ⇒Android⇒data⇒com.astem.jp.Oxy-Pro⇒
files⇒data⇒csvファイル

*iPhone

ファイル ⇒ ブラウズ ⇒ このiPhone内 ⇒ Oxy-Pro

* Windows用

測定データはファイルに保存されますので、ファイル名の入力をしてください。
ファイルはOxyPro_win⇒「Data」フォルダに保存されます。

※シェードと本体の間に汗が入った場合、清掃して使用してください。
本体は消毒用アルコールを直接スプレーしないでください。
柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をかたくしぼって拭いてください。
シェードは水に強い素材なので水洗いが可能です。
有機溶剤(ベンジン・シンナー)などは、使用しないでください。